

開催間近！多数の参加を！

◇女性協第30回定期大会◇

日 時 10月4日(土) 13時～

10月5日(日) 12時30分

会 場 10月4日(土)

全共連ビル 1F101会議室

10月5日(日)

エデュカス東京 地階会議室

◇第39回Y&Yフェスティバル◇

日 程 10月11日(土)～

10月12日(日)

場 所 愛媛県松山市内

講 演 スポーツジャーナリスト

二宮清純さん

※詳細は本部までお問い合わせください。

イラク戦争の真実

ローレン・モレさんの話を聞く会

(アメリカの科学者)

～劣化ウランは地球を殺す～

8月20日に文化放送で「アメリカの科学者ローレン・モレさんの話を聞く会」イラク戦争の真実。劣化ウランは地球を殺すといま、イラクに人を送る事は死刑宣告に等しい」と題した勉強会が行われ、社内外から二三人が参加しました。講師のローレン・モレさんは「戦争中毒」を翻訳出版したきくちゆみさんたちNGOの招きで来日し、広島・長崎をはじめ日本各地で劣化ウラン弾や原発・核実験による放射能汚染の恐ろしさを講演しています。また、各メディアでも取り上げられているので存知の方も多いでしょう。モレさんが膨大な資料を分析し、自らも参加した放射能汚染調査データを元に次々に語られる話に参加者は熱心に聞き入りました。「湾岸戦争後、イラク南部ではガン患者や異常出産児が増えている。一方の米帰還兵もかなりの割合で健康障害や異常出産の現実に直面している」「旧ユーゴスラビア・アフガニスタンそしてイラクに使用された劣化ウラン弾によって、その周辺国も含めて放射能汚染地区は急激に拡大している。そしてこの度のイラク戦争では、湾岸戦争時の数倍もの劣化ウラン弾が使われ、すでにイラク人のみならず、米軍兵士や取材のジャーナリスト、人間の盾として戦地に赴いた人等に健康障害が現れている」「など…放射能汚染の恐ろしさが伝わってくる話でした。地質学者でもあるモレさんは研究に携わっていた場所が実は核兵器研究所だと知って即辞職、その時すでに被曝していたといいます。

アメリカ国民は何も知らされず、帰還兵も救済され



女性協議会

ずに放置されている現実に、モレさんは時に危険な目に遭いながら告発者として活動が続けています。「日本は原爆体験を通して放射能の影響を知り尽くしてきてはいけいないのは、自衛隊を派遣することではなく、治療の知識を掲げることであり、小児ガン用の医療センターをつくることだ」「メディアはもっともつと劣化ウラン弾の恐ろしさを取り上げて欲しい。自分がかうして多くの人の前で語り、メディアに紹介されている間は大丈夫！」「市民ネットワークがこの困難な時代を切り開いていくと思っている」等、語られる言葉は一語一語重いが、笑顔が魅力的な勇気ある女性に感動でした。